令和 6 年 12 月

# 【大間町】
# 校務 DX 計画

当町立学校では現在、校務支援システムは未導入となっているため、統合型校務支援システムの導入を目指し校務デジタル化を図っていく。

校務デジタル化を進める上での課題として、当町立学校はネットワーク強靭化の考えから現在の校務ネットワーク環境が LGWAN 環境での構築となっている事から、既存の環境では統合型校務支援システム（クラウド型）の利用が出来ない状況にある。この事から、ネットワークの再構築を行い各種クラウドシステムの利用が可能な環境を作る事が必須となる。

校務デジタル化を進めるにあたり、準備や検討を含み複数年に渡るため、段階的に整備する必要があると考えられる。この事ことから、隔年の目標を以下のとおり定め、環境整備を図る。

| | |
|---|---|
| 令和 7 年度 | ・校務ネットワーク再構築に係る内容等検討 |
| 令和 8 年度 | ・校務ネットワーク再構築準備<br>・校務ネットワーク再構築実施<br>・メールのクラウド利用検討<br>・Office ツールのクラウド利用検討 |
| 令和 9 年度 | ・メールのクラウド化実施<br>・Office ツールのクラウド化実施<br>・統合型校務支援システム導入検討 |
| 令和１０年度 | ・統合型校務支援システム導入 |
| 令和１１年度 | ・セキュリティ―対策の見直し<br>・校務端末 1 台化の検討 |

校務デジタル化は教育現場の実情を考慮しながら進める必要があると考えており、各町立学校と協議をしながら整備を進めて行く予定である。

注釈 1　校務支援システム：教育現場で使用する様々なデータを電子化し、一元管理するシステム。

注釈 2　統合型校務支援システム：校務系、保健系、学籍系、学校事務系等を統合して機能を有しているシステム。